

経済指標ウォッチャー

米ISM非製造業景況感指数 11月は再び低下

サービス業の活動低迷が続く

ISM非製造業景況感指数とは？

全米供給管理協会（ISM）がサービス業を中心とする非製造業の購買担当者へのアンケート調査結果をもとに、毎月公表している米国の非製造業の景況感を示す指標のひとつ。毎月第3営業日に公表される。米国GDP（国内総生産）において非製造業は全体の約7割を占めていることから、製造業景況感指数より重要と考える投資家も多いと言われる。製造業景況感指数と同様、50が景気の拡大・後退の分岐点であり、50を上回ると景気拡大、50を下回ると景気後退を示す。

景況感は2ヵ月連続で低下となる

全米供給管理協会(ISM)が12月3日に公表した、2020年11月の非製造業景況感指数は55.9（市場予想：55.8）と、10月の56.6から低下しました(図表1)。好不況の判断の節目となる50を上回ったものの、2ヵ月連続の低下で、6ヵ月ぶりの低水準となりました。

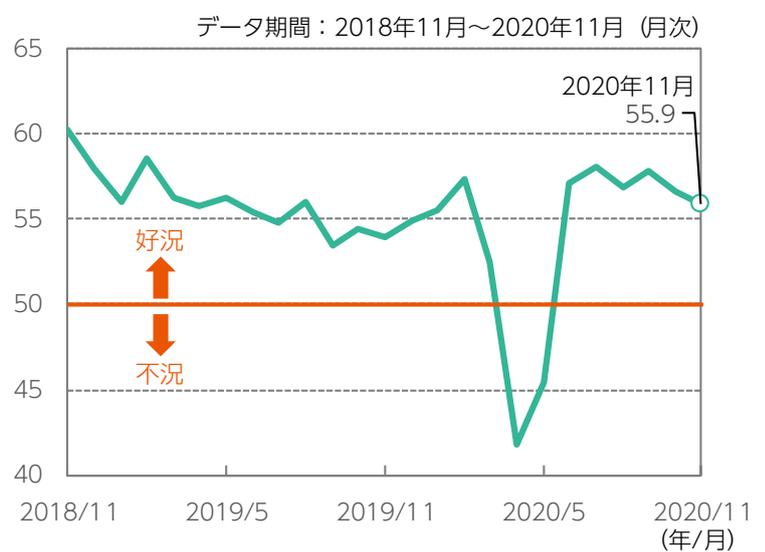
11月は、18業種のうち輸送や建設などの14業種において景況感の改善が報告された一方、娯楽や不動産などの4業種では景況感の低下が報告されました。感染再拡大により、営業時間の短縮要請など、経済活動を制限したことが影響したとみられます。

活動制限の継続から景況感は低下の可能性も

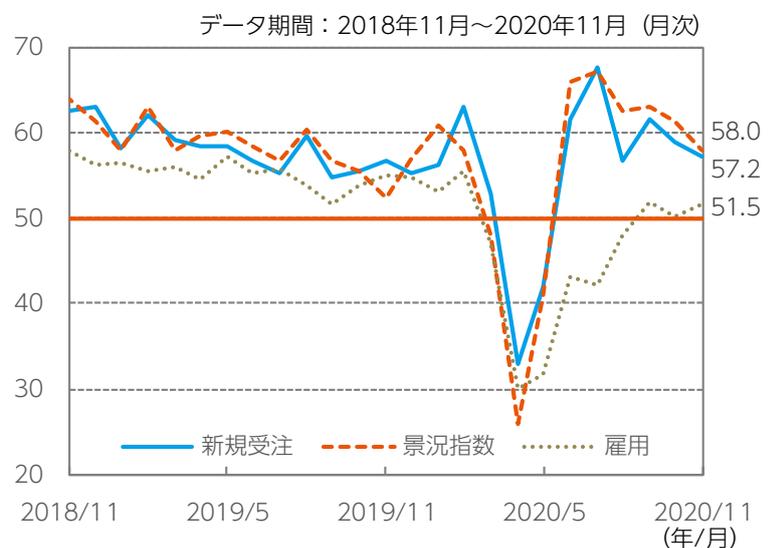
主な構成指数別にみると、景況指数が58.0(前月比-3.2)、新規受注が57.2(同-1.6)が前月から低下となりました。一方、雇用は51.5(同+1.4)と、前月から上昇しました(図表2)。しかし足元では、賃金補填や雇用維持を中心とした大型の経済対策が夏以降、順次期限切れとなったことや、経済活動の再制限で飲食店等の客足の落ち込みから、一部の業種では一時解雇が増加しており、雇用環境の悪化が懸念されます。

英国でワクチン接種が開始となり、米国内でも早期接種開始への期待が高まります。しかし、感染拡大に収束の兆しは見え、入店制限や営業時間の短縮などの活動制限の継続から、サービス業の景況感さらには低下することも予想されます。

図表1：非製造業の景況感は2ヵ月連続で低下



図表2：活動の制限で景況指数が大きく低下



出所) 図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>